

水戸葵陵高等学校医歯薬コース

2014年6月

医歯薬通信 *SANS FRONTIERES* vol.16

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryo.ac.jp/>

はじめに

平成26年4月7日、第30回入学式が挙行され、医歯薬コースも第12期生40名を迎え入れることができました。平成15年の設置以来、12年の歳月が流れました。干支でいえば、ちょうど一巡したことになります。今日の十二支は、12の動物の名前で一般の人にも親しみやすいようになっていますが、本来は地上における12種の大気作用をあらわした符号です。十二支の各文字は、一説に草木が成長する過程を象徴したものとされます。子から巳までの前半は、植物に例えれば、成長期であり、午から亥までの後半は、花をつけ実が熟す時期に当たります。

医歯薬コースもこれまでに、春の陽射しのように、暖かなまなざしで生徒たちを見守り、愛情を注いできた先生方と、大地の恵みと陽の光りを浴びて木々が成長するように、伸びやかに育っていった生徒たちのお陰で9年連続医学部合格を達成したほか、医師、歯科医師、薬剤師等の数多くの医療従事者を輩出するなど、結実することができました。

十二支では、枝先の果実は地に落ちて種子となり、この種子が、新たな始まりとなって次のサイクルの主役となるとしています。この自然の営みから私たちは困難を乗り越えることの大切さを学び取らなければなりません。種子は冬の厳しい寒さに耐えながら、来春の発芽に向けて準備を始めます。

医歯薬コースが12年目を向かえるに当たり、在校生の皆さんに、これまでに卒業された先輩たちの中にも苦勞に苦勞を重ねて目標達成を成し遂げた人がたくさんいるということをお伝えするとともに、「歳寒、然後知松柏之後凋也（書き下し文：歳寒くして、然る後に松柏の凋むに後るるを知る）『論語』より」という言葉を送りたいと思います。



写真は第30回入学式の様子
左) 校長式辞
右) 担任団

救急救命講座

平成26年3月1日(土)
水戸地区救急普及協会による「救急救命講習会」

が実施され、1年生の希望者34名が参加。3時間にわたり、心肺蘇生やAEDの使用法、止血法等について講習を受けた。生徒は、講師の方々の説明に真剣に耳を傾け、実技実習では、緊張の中にも和やかな雰囲気を取り組む姿勢が見られた。最後には嘔吐の対応方法など様々な質問も出て有意義な講習となった。講習終了者には、4月水戸市消防本部消防長より普通救命講習修了証が交付された。



日立さくらロードレース

平成26年4月6日(日)曇り空の下、日立市体育協会主催日立さくらロードレース大会が行われ、

医歯薬コース2・3年生44名がボランティアに参加し計測タグの回収作業を担当しました。

3年生は昨年に続き2回目で手慣れた手つきでタグを笑顔で回収、2年生も慣れないながらも疲れたランナーをねぎらいながら、シューズからタグ回収を一生懸命行いました。生徒の感想より

「今回、マラソンの初ボランティアということで普段できない貴重な経験をしました。」

「疲れて、手にマメができてしまったけれど、とても楽しくやりがいがあった。」

「ランナーにお疲れ様ですと言ったら「ありがとう」と言われて自分も元気が出たので、ますます大きな声を出してランナーのタグ回収を頑張ることができた。」

「昨年も参加して楽しかったので今年も参加しました。他の団体(滑川ファミリースポーツクラブ)のみなさんと協力しながら活動ができました。また、一生懸命走ってきた小さい子ども達に元気ももらいました。小学生もおじいちゃんも一生懸命で感動したし、普段の学校生活では味わえない体験ができました。」



進路講演会

平成26年4月19日(土)
2,3年生保護者を対象とした進路講演会が実施された。

河合塾松戸校舎長の渡辺先生を講師にお招きし、「2014年度入試総括と保護者としての心構え」について資料を基にご講演頂いた。医学系志願者の増加による難化や医学部合格へに向けてのポイントを分かりやすく解説頂いた。



1年生共同宿泊学習

平成26年4月23日(水)～26日(土)にかけて、茨城県行方市にあるレイクエコーにおいて、1学年医歯薬コースの共同宿泊学習が実施された。朝8:50から夕方18:00まで授業を受け、夕食・入浴後には20:00から23:00まで授業の予習・復習を行うかなり過酷な4日間であったが、全員頑張って乗り切り高校生としての自覚も増したようであった。半日だけ、野外炊飯を実施したが、ここでは各班協力したカレーおよびナンを作り上げクラスの親睦を深めていた。終了後には自宅学習の方法が分かったなどの感想もあり、現在もこのペースを崩さず自宅学習を継続している生徒もいる。

6月7月の行事予定

～ 6月 ～

2日(月)衣更え(～7日まで)
6日(金)医師講演会
7日(土)漢字検定
8日(日)英語検定(1次)
9日(月)WT(2年:英, 1年:数)
13日(金)尿検査(二次)
20日(金)尿検査(未提出者)
21日(土)文化祭・生徒総会
22日(日)文化祭
23日(月)代休
27日(金)創立記念日

～ 7月 ～

1日(火)MT(～4日まで)
4日(金)壮行会・修学旅行事前指導
5日(土)教育振興会後援会3年代表者会議
6日(日)英語検定(2次)
7日(月)WT(2年:国, 1年:英)
11日(金)進研模試(1, 2年)
12日(土)数学検定
18日(金)総合学習発表会(1, 2年)
19日(土)終業式
21日(月)海の日
22日(火)夏期課外I期
(土, 日除き28日まで)
30日(水)学習合宿(8月2日まで)
31日(木)第1学期追考査

推薦図書

「残る薬剤師」「消える薬剤師」

医療ジャーナリスト 藤田道男 (zaiten Books)

薬局、薬剤師に焦点を絞って書かれており、基礎知識はもちろん、現状やこれからの展望、課題がよくまとめられている。アンケート結果の提示やデータの分析もあって読みやすい。小論文や面接試験における口頭試問のテーマにも精通しているので、強烈な題名のこの本を、薬剤師を志す生徒、薬学部進学を目指す生徒には是非読んでもらいたい。

卒業生の進路 進学コーディネーターより

進路指導部とは独立した部署として、「進学コーディネーターセンター」という名称の部署があります。今年度新たにできました。その役割は「大学進学情報の収集・分析・提供」ですが、そのなかに『進路資料2014年』の作成があります。そこで医歯薬通信の第1回目は、『進路資料2014年』では分からない「医歯薬コース」に限った進路情報を公開してみよう。平成24年3月～平成26年3月の3ヶ年に卒業した生徒たちの進路先一覧である。国公立大学、私立大学別に、さらに、進学先を系統別に分類し、進学した実数を()に示した。

過去3ヶ年(H24年～H26年)医歯薬コース生徒の進学先(実数) 卒業生138名

国公立大学進学者 茨城(7) 茨城県立医療(6) 筑波(5) 福島県立医科(4)
秋田(3) 富山(2) 山形(2) 北海道(1) 帯広畜産(1) 弘前(1) 群馬(1)
東京工業(1) 静岡(1) 島根(1) 鹿児島(1)

私立大学進学者 昭和(7) 東京薬科(7) 千葉科学(7) 日本(7) 国際医療福祉(4)
獨協(2) 星薬科(2) 日本歯科(2) 明海(2) つくば国際(2) 横浜薬科(2)
岩手医科(2) いわき明星(2) 埼玉医科(2) 奥羽(1) 茨城キリスト教(1)
獨協医科(1) 明治薬科(1) 酪農学園(1) 金沢工業(1) 杏林(2) 北里(1)
駒澤(1) 城西(1) 城西国際(1) 聖徳(1) 了徳寺(1)
早稲田(1) 慶應義塾(1) 東洋(1) 國學院(1) 東邦(1) 同志社(1) 東京理科(1)
東京農業(1) 東海(1) 東京電機(1) 東京工科(1) 東京医科(1)

過去3ヶ年(H24年～H26年)医歯薬コース生徒の進学系統(実数)

医学(9) 歯学(6) 薬学(33) 看護(5) 獣医(1) 臨床検査(2) 放射線(4)
理学療法(6) 作業療法(2) 臨床工学(1) 畜産(1) 生物系(9) 化学系(3)
数学系(3) 工学系(9) 環境系(3) 教育(4) その他(3)

本校の卒業生で医学部医学科で学ぶ学生や研修医は32名に到達している。また女子生徒は資格志向が強く、国家試験など資格取得を主とする学部、就職に強いと言われる学部である薬学部、看護学部、理学療法、臨床検査など多くの生徒が医療系の学部学科に進学している。

ここ3年は家計の教育費負担の増加、就職活動の厳しさ、教育課程が新課程への移行期間に入っていることなどを背景に、東京などの「都市部志向」から、生活費の負担が少ない「地方志向」、さらに授業料の負担から「国公立志向」、浪人＝教育課程の変更から大学名などにこだわらない「安全志向」、できるだけ就職に有利な学部を選択する「資格志向」の4つの傾向が見られる。現在の在校生の志望も薬学部が最も多く、今後もこの傾向は続くと思われる。